



秋田市の **胸部** (肺がん・結核) 検診を受けるかたへ

◎検診結果について

受診してから
約6週間後、秋田市からご自宅に送付します。



異常なし

経過観察

自覚症状がある場合は
医療機関を受診しましょう。

肺がんの中には急速に
進行するものもあります。

年に1回 は
検診を受けましょう！

要精密検査



精密検査は
保険診療です

◎自覚症状がなくても**必ず**精密検査を受けましょう！
(※喀痰細胞診検査で「要精密検査」となった場合も)

精密検査(保険診療)には以下のものがあります。

【胸部CT検査】:X線を使って病変が疑われた部位の断面図
を撮影します。

【気管支鏡検査】:気管支鏡を口や鼻から挿入して
病変が疑われた部分を直接観察します。

肺がんの自覚症状(一般的な症状)

* がんの種類によって症状等が異なります。

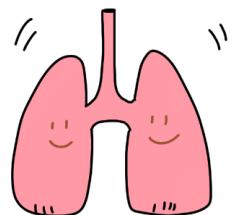
- ◎ 咳 ◎ 痰 ◎ 痰に血が混じる(血痰)
- ◎ 息切れ ◎ 胸痛 等

**症状が現れないうちに
早期発見・早期治療が
大切です！**

■ 血痰、長引く咳、胸痛、声のかれ、息切れなどの症状がある場合は、
次の検診を待たずに医療機関を受診してください。

■ 精密検査結果は、精度管理のため、
秋田市と胸部検診を受診した医療機関にも情報が共有されます。

■ 胸部検診(胸部エックス線検査および喀痰細胞診)は、
死亡率の減少効果があると国が認めている有効な検診ですが、
必ずがんが発見できるわけではありません。
また、がんがなくても検診結果で「要精密検査」となる場合もあります。



増加中！

肺がん

* 肺がん: 気管、気管支及び肺のがん

日本人のがんによる
死亡数の**第1位**

【肺がんと胃がんの死亡率(人口10万対)の推移】
平成10年に胃がんを抜きがん死亡率トップになりました

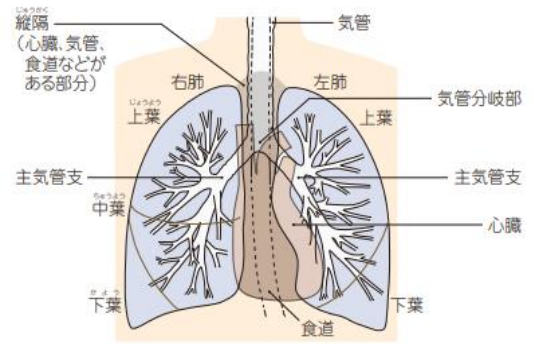
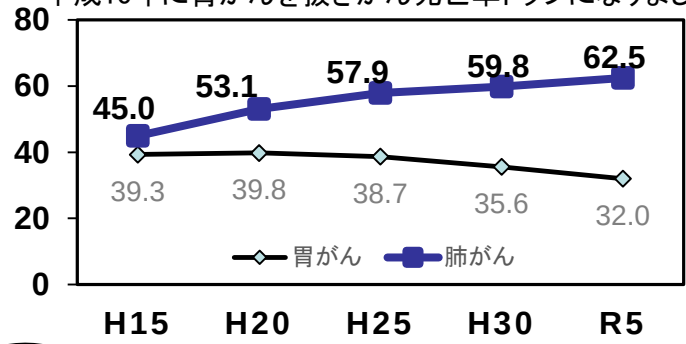


図: 国立がん研究センターがん情報サービス
がんの冊子「肺がん」より引用

細胞の種類や発生部位によって
分類されます。
**症状が現れないうちに、
早期発見・早期治療が大切です。**

参考: 厚生労働省(人口動態統計)

昔の病気
じゃない

結核



【風邪のようで風邪じゃない、
人から人へうつる「感染症」です】
「咳」や「痰」が2週間以上続く場合は、
医療機関を受診しましょう。

日本では、現在も1年間で
10,096人 の新たな患者が発生し、
1,587人 が命を落としています。

参考: 厚生労働省(2023年結核登録者情報調査年報集計結果)

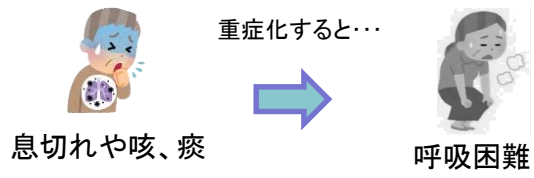
たばこ病

COPD(慢性閉塞性肺疾患)



COPDは肺の病気で、原因の9割が**喫煙** です。
たばこの有害物質がじわじわと肺の組織を破壊し、徐々に呼吸がしにくくなっていきます。
治療をせず進行すると、「おぼれるような息苦しさ」といった呼吸困難に陥ります。

症状



予防方法

- たばこを吸わない**
 - 喫煙者の5人に1人は、COPDを発症しています。
 - たばこは、多くの有害物質と発がん物質を含んでいます。
- 周囲のたばこの煙を避ける**



《STOP！たばこ》

禁煙外来に通院し飲み薬や貼り薬で治療をすると、自力よりも禁煙に成功しやすいとわかっています。保険適用になる場合もあるので医療機関に相談しましょう。



健康な生活を送るために、年に一度、検診を受けましょう。

健康な 今こそ受けよう がん検診！

【問い合わせ先】秋田市保健所 保健予防課 電話 018-883-1176~1178

【インターネットで検索】

秋田市 胸部

検索

クリック！

